

中期5カ年ビジョン策定に関するお知らせ

当社は、2019年度から2023年度までの中期経営ビジョンを策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 基本方針

前中期経営ビジョンの期間中においては大きな工場事故や自然災害があり、弊社は臨機に製造数量、出荷地等を変更し、事業法アルコールの安定供給に努めました。本中期経営ビジョンにおいてはこのような市場の変化に更に柔軟に対応できる製造・出荷体制を構築し、事業法アルコールの安定供給の要の地位を確立することを主たる目標とします。

II. 主要施策

1. 事業法アルコール

1-1 事業法アルコールの供給予備力の整備・強化

発酵・合成を問わず、供給予備力の整備・強化を進めてまいります。

(1) 発酵アルコールの供給予備力の充実

① 鹿島工場のデボトルネッキング

鹿島工場の既存設備の更新等により生産・出荷能力を増強します。

② 鹿島工場の予備系列の新設

安定供給の基盤をより強固なものとするため、鹿島工場に予備系列（300KL/日）を増強し、供給力二重化を図ります。

(2) 合成アルコールの供給力の質的向上

設備制御システムの更新、船出荷の荷役量の拡大、定期修理期間の短縮等により供給力の増大を図ります。

1-2 継続取引先への安心・安全な供給の確保

(1) SCMの充実

発酵及び合成のグループ企業によるSCM会議を充実させ、長期的な視野の下、突発的な供給の減少時においても円滑に供給できるようにきめ細かくサプライチェーンを管理いたします。

(2) おいたち管理の徹底

おいたち情報の充実を図り、トレーサブル販売における迅速な緊急時対応の仕組みを確立いたします。

2. 化成品

2-1 事業所の整備（船橋、新神戸）

(1) 製造移管の試行

より効率的な製造システムの構築のため、これまで日本アルコール物流(株)に作業委託していた船橋事業所の構内作業を、日本アルコール販売(株)及び信和アルコール産業(株)が自ら実施することとします。

(2) 設備関係

今後の製造出荷数量の増加に対応するため、船橋及び新神戸事業所の製造設備の増設、改修等を行います。

2-2 新製品の開発

(1) アルコール製品

顧客の課題を解決する商品や乳酸菌、青カビ等の顧客からの問い合わせの多い菌への対応に特化した商品をスピーディに開発します。

(2) 農業関連製品

過去事例の実績データの蓄積・吟味や圃場試験等を行いつつ新製品の開発を行います。

2-3 ネオコール及び工業薬品

アル販独自商品のネオコールを継続販売するとともに、工業薬品について仕入れ面や営業面での取組みを一層向上させてまいります。

3. 物流

3-1 物流勢力

車輛の更新、ドライバーや現業職の増員を通じて業務量の増加、高度化に計画的に対応してまいります。

3-2 安全運行管理の強化

専門知識をもった責任者の選任や社内制度整備により、運行管理や車両整備管理の強化を図ります。

3-3 駐車場の整備

業務増大に伴い駐車場が不足してきている営業所等において安定的な事業運営を行うために、近隣の土地取得を検討します。

3-4 新船の建造

事業法アルコールの供給予備力の整備・強化計画を念頭に置き、新船建造にタイミングを失することなく、計画期間中に新船建造契約を締結します。

4. グループ共通課題

4-1 人材力の量的質的向上

業務の高度化、業務量の拡大等により必要人員が増大することから採用を増大するとともに、ベテラン社員の活用を促進いたします。また研修を充実させるほか、資格取得を奨励し、人材力の向上を図ります。

4-2 働く環境の整備

新社宅を建設するほか、社員のための各種制度を整備して、働きやすい職場環境づくりを行ってまいります。

4-3 情報システムの不断の見直し

現在の情報システムについて不断の見直しを行うとともに、社内のペーパーレス化等を推進します。

5. グループ利益目標と利益処分の方向

5-1 アルコール販売グループの利益目標

	中期5カ年ビジョン期間の利益目標
日本アルコール販売(株)	営業体質を強めるとともに間接部門を効率化することにより、安定的に年間30億円の営業利益を確保することを目指します。
日本アルコール産業(株)	着実に年間6億円の営業利益を確保する企業体質を構築し、今後、大型投資が予定され、限時的に設備償却負担が極めて大きくなると想定されるが、この場合においてもEBITDA年間12億円の確保を目指します。
日本合成アルコール(株)	年間1.5億円の営業利益を維持します。

信和アルコール産業(株)	売上増により年間 2.5 億円の営業利益確保を目指します。
日本アルコール物流(株)	物流基盤を強化し、年間 1.2 億円の営業利益を維持します。
アルコール海運倉庫(株)	海上輸送の基盤を強化し、0.4 億円の営業利益を維持します。

5-2 アルコール販売グループの配当方針

安定配当の継続を基本とします。ただし、特殊事情のある会社については期間中、配当を見送ることとします。

	安定配当の目安
日本アルコール販売(株)	1株当たり7円の安定配当を継続します。
日本アルコール産業(株)	1株当たり1,000円の安定配当を継続します。
日本合成アルコール(株)	1株当たり15円の安定配当を開始し、継続します。
信和アルコール産業(株)	製造プロセスの転換を図る重要な時期であることから、本ビジョン期間中は配当見送ります。
日本アルコール物流(株) アルコール海運倉庫(株)	事業基盤強化をはかる必要から、引き続き配当見送ります。

5-3 グループ設備投資、大口修繕の見通し

本ビジョン期間中においてアルコール販売グループは合計約 240 億円の設備投資及び大口修繕を実施する見通しとなっています。とりわけ日本アルコール産業(株)の鹿島工場で計画されている大型投資については、アル販グループ各社が協力し、本ビジョン計画期間の利益の相当部分を積み立て、全額自己資金で賄うとともに、その償却負担は極力合理化努力等で吸収し、お客様の負担を回避すべく努力します。

以上